

本県の住まいを取り巻く状況について

令和8年8月5日
富山県土木部建築住宅課

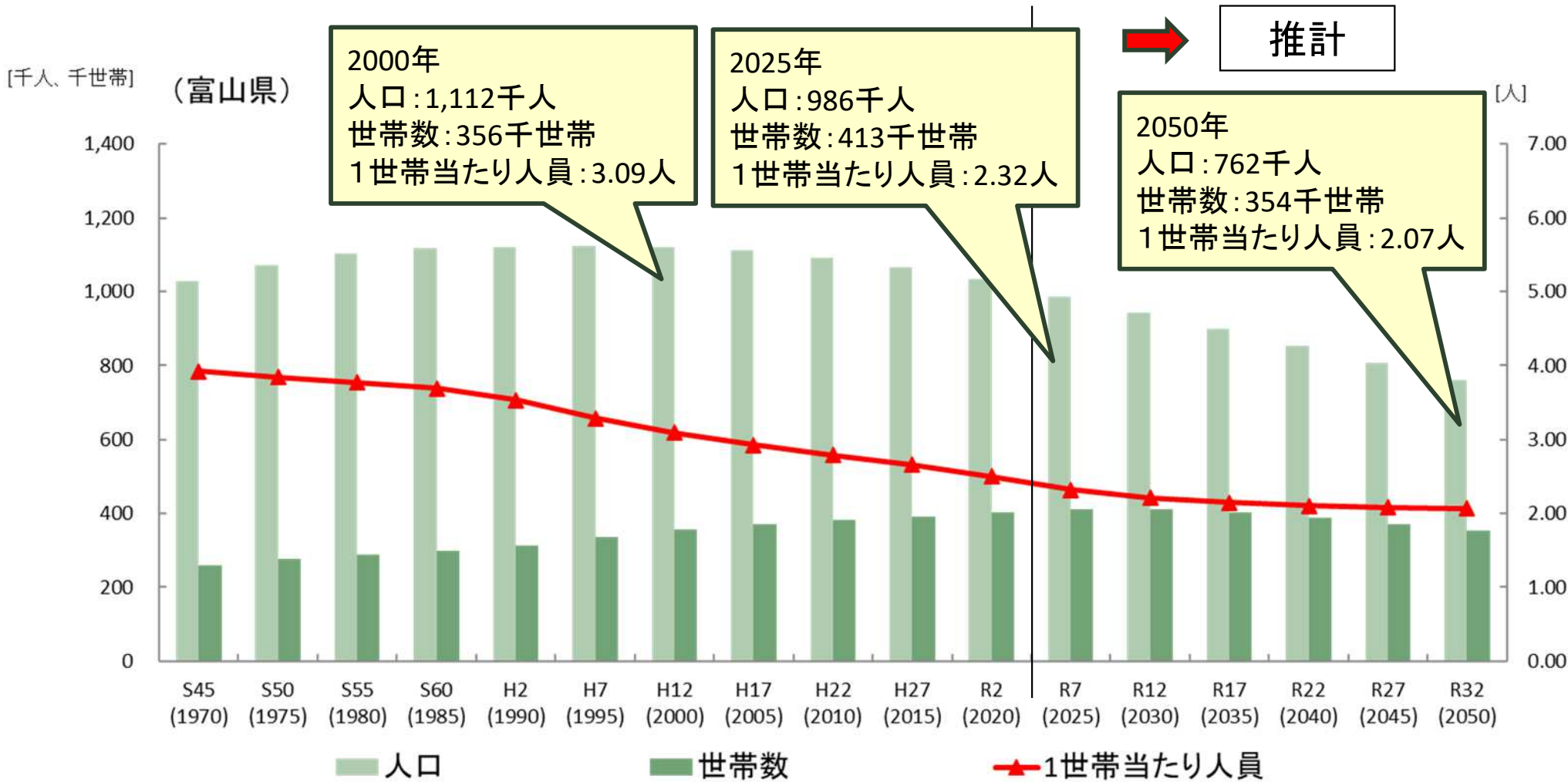
居住者に関する状況

<居住者に関する状況> 人口・世帯数【富山県】

令和7年(2025年)の人口は約99万人、世帯数は約41万世帯、1世帯当たり人員は2.32人です。

- ・人口は、2000年前後をピークに**減少傾向**です
- ・世帯数は、現時点まで増加していますが、**今後減少が見込まれます**
- ・1世帯当たりの人員は、減少傾向が続いており、**今後も減少が見込まれます**

令和32年(2050年)の推計は、人口は約76万人、世帯数は約35万世帯、1世帯当たり人員は2.07人です。



資料: 国勢調査(総務省)、日本の都道府県別将来推計人口、世帯数(R6推計)(国立社会保障・人口問題研究所)を基に作成

法律で定める者

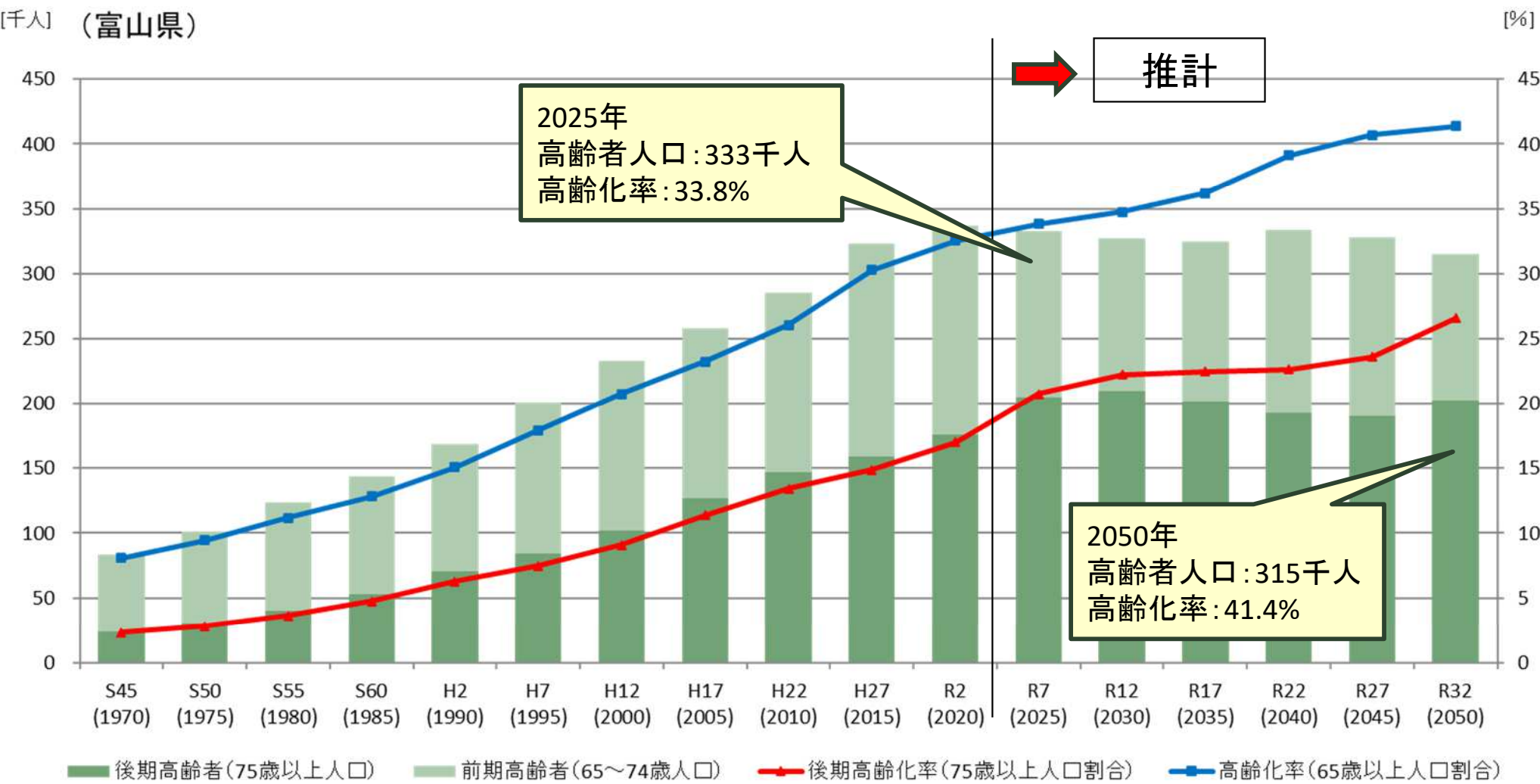
- ① 低額所得者
(月収15.8万円(収入分位25%)以下)
- ② 被災者(発災後3年以内)
- ③ 高齢者
- ④ 障害者
- ⑤ 子ども(高校生相当まで)を養育している者
- ⑥ 住宅の確保に特に配慮を要するものとして国土交通省令で定める者

国土交通省令で定める者

- ・外国人(日本の国籍を有しない者) 等
(外国人のほか、中国残留邦人、児童虐待を受けた者、ハンセン病療養所入所者、DV被害者、拉致被害者、犯罪被害者、保護観察対象者、刑の執行等のため矯正施設に収容されていた者、困難な問題を抱える女性、生活困窮者など)
- ・東日本大震災等の大規模災害の被災者
(発災後3年以上経過)
- ・都道府県や市区町村が 供給促進計画
において定める者
(海外からの引揚者、新婚世帯、原子爆弾被爆者、戦傷病者、児童養護施設退所者、LGBT、UIJターンによる転入者、住宅確保要配慮者に対して必要な生活支援等を行う者)

<居住者に関する状況> 高齢者人口【富山県】

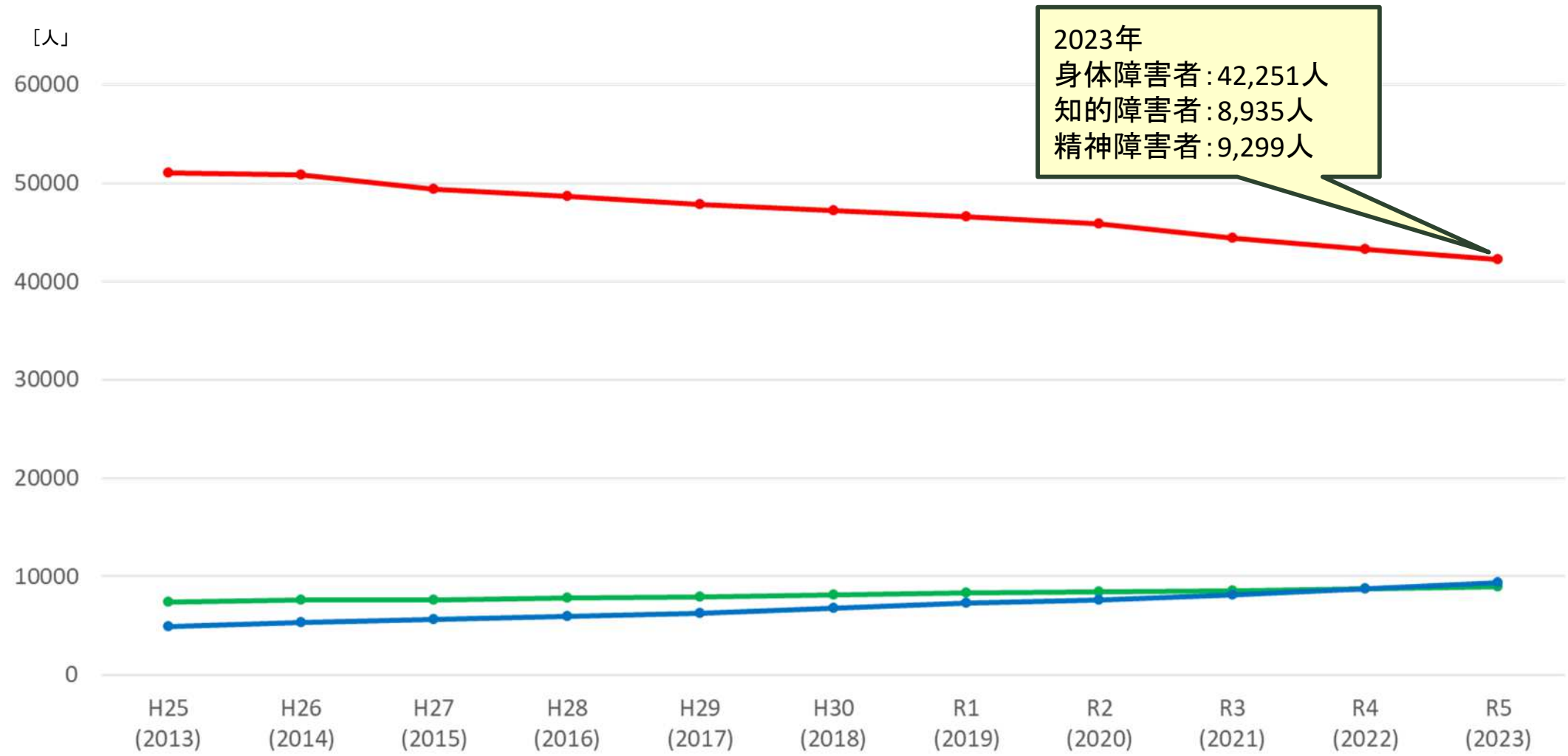
令和7年(2025年)の県内の高齢者人口(65歳以上)は約33万人、高齢化率(65歳以上人口割合)は33.8%です。
・高齢者人口は、今後横ばい傾向です
・ただし、高齢化率は上昇の傾向が続きます
令和32年(2050年)の推計は、県内の高齢者人口(65歳以上)は約32万人、高齢化率(65歳以上人口割合)は41.4%です。



資料: 国勢調査(総務省)、日本の都道府県別将来推計人口、世帯数(R6推計)(国立社会保障・人口問題研究所)を基に作成

<居住者に関する状況> 障害者の推移【富山県】

2023年の障害を持つ方の数について、身体障害者は42,251人、知的障害者は8,935人、精神障害者は9,299人です。
・身体障害者は減少傾向ですが、知的障害者、精神障害者は増加傾向です。



身体障害者—身体障害者手帳所持数
知的障害者—療育手帳所持数
精神障害者—精神障害者保健福祉手帳所持者数
※重複あり

<居住者に関する状況> 外国人の住民数【富山県】

令和7年(2025年)の外国人の住民数は25,714人です。

・外国人の住民数は増加傾向です



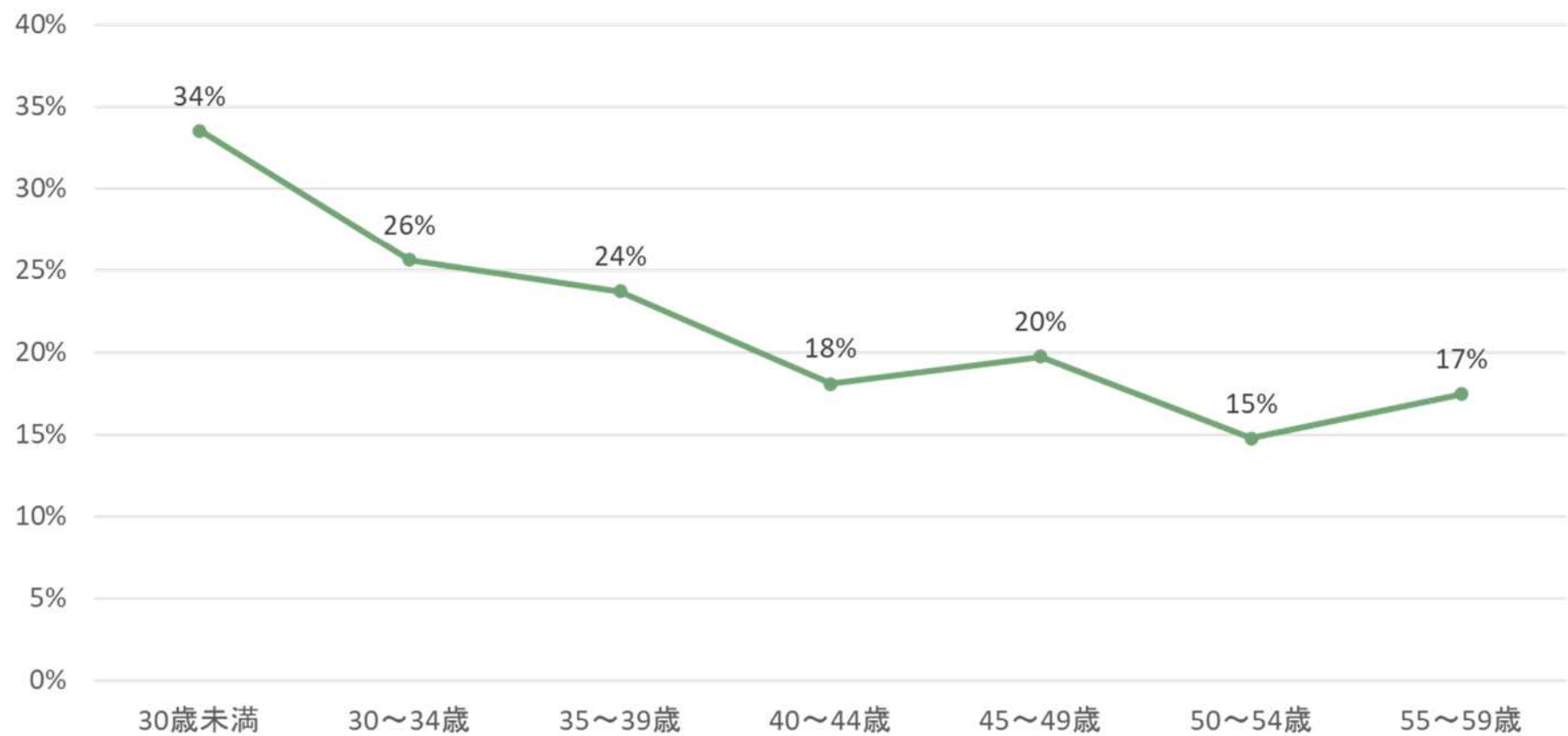
2025年
外国人の住民数: 25,714

※技能実習生、特定技能実習生等の在留資格を有する数を含む

<居住者に関する状況> 年齢別の総支出に占める住宅費の割合【富山県】

若年(30歳未満)世帯は、40～50歳代の世帯と比較し、支出のうち住居に関する支出の占める割合は多い傾向です。

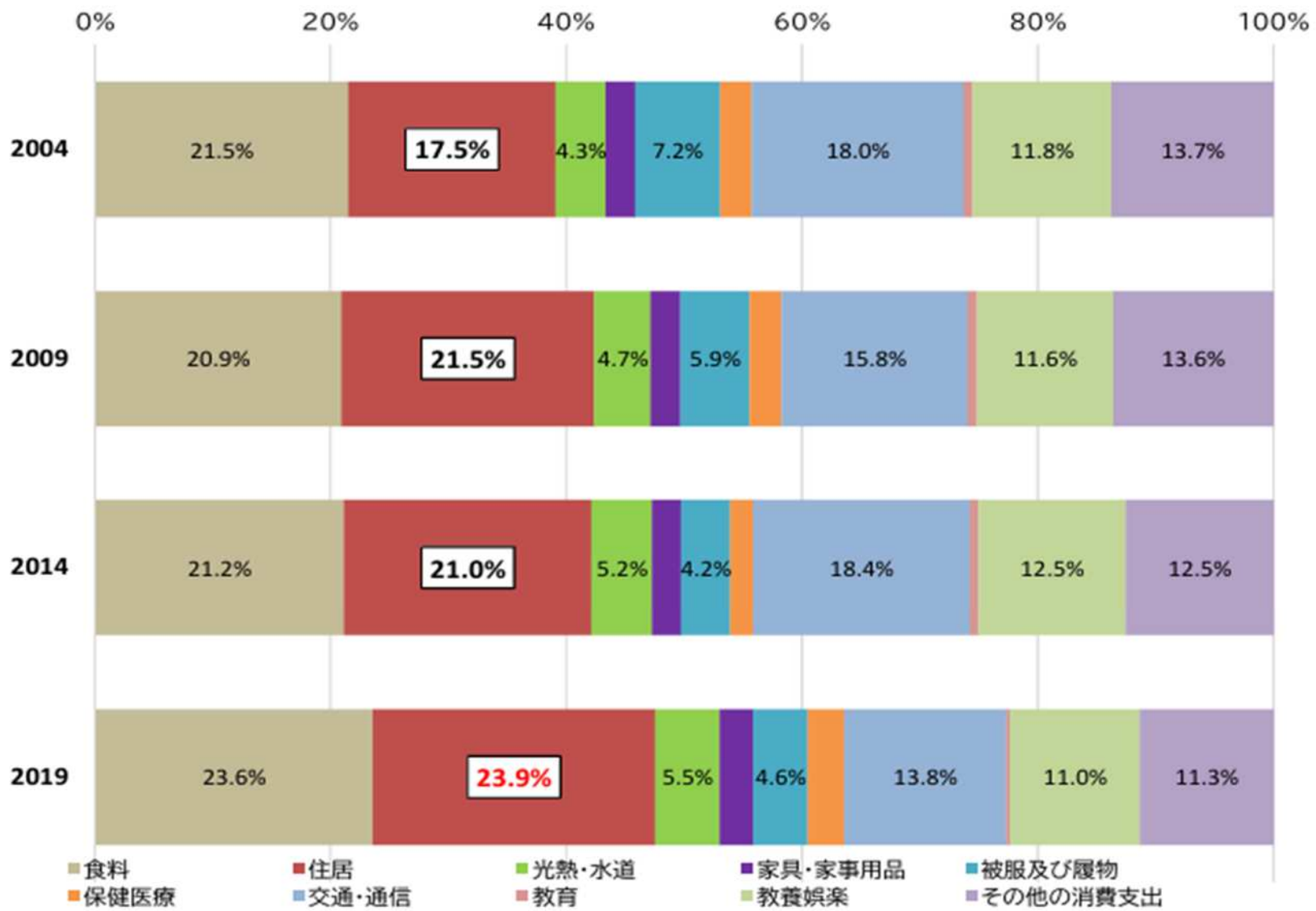
総支出のうち、住居費※が占める割合



※住居費には、持ち家の帰属家賃（持家の場合の仮想家賃額）含む
※勤労者世帯かつ2人以上の世帯にて作成

<居住者に関する状況> 若年世帯の消費支出における項目分類別割合【全国】

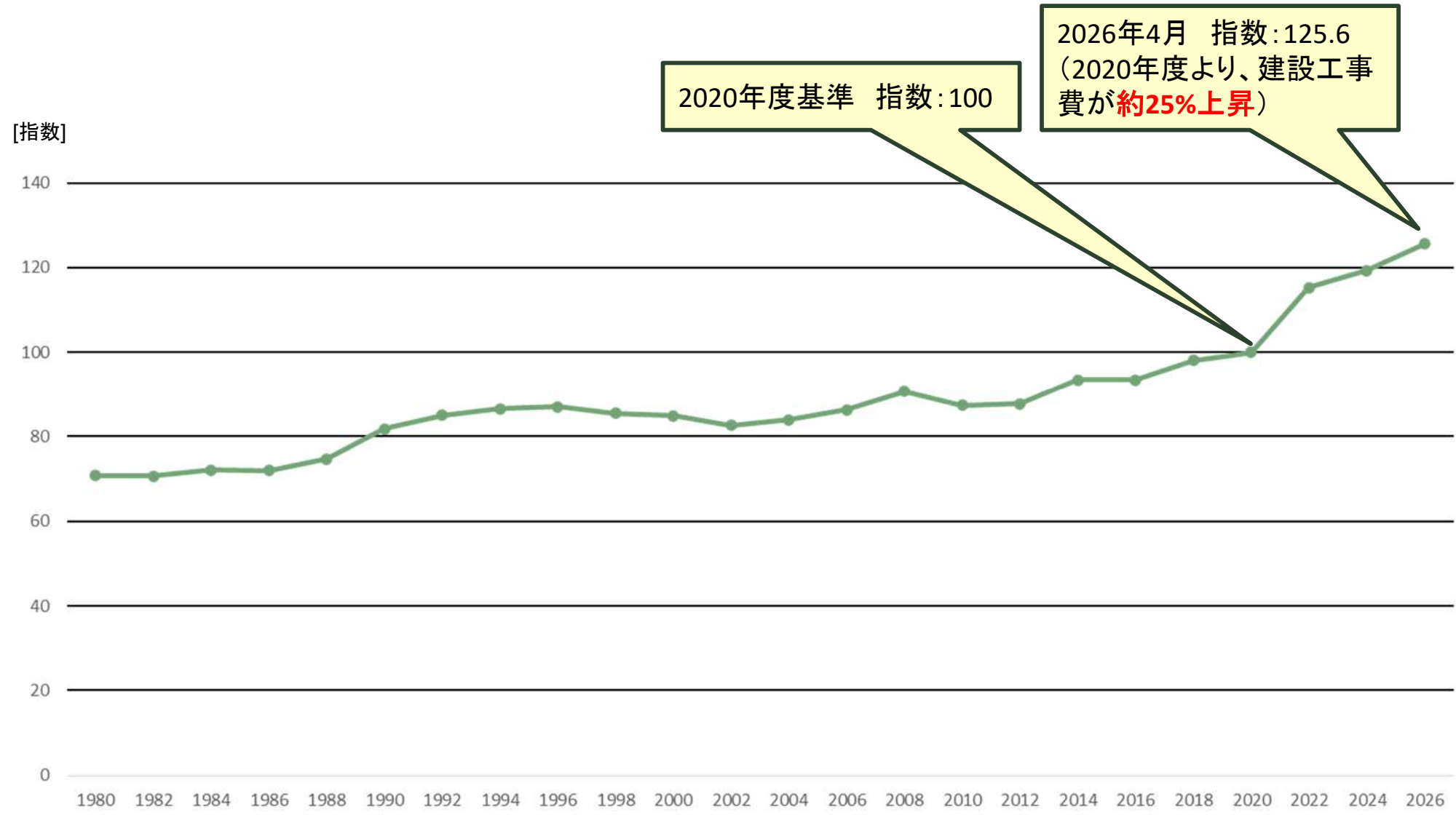
若年世帯の消費支出のうち、住居に関する支出割合は増加傾向です。



※住居費には、持ち家の帰属家賃(持家の場合の仮想家賃額)含めない
※30歳未満の勤労者世帯の支出
資料:全国家計構造調査(総務省)より国土交通省作成資料を引用

<居住者に関する状況> 建設費デフレーター（住宅）【全国】

住宅の建設工事費は、近年**上昇傾向**が続いています。

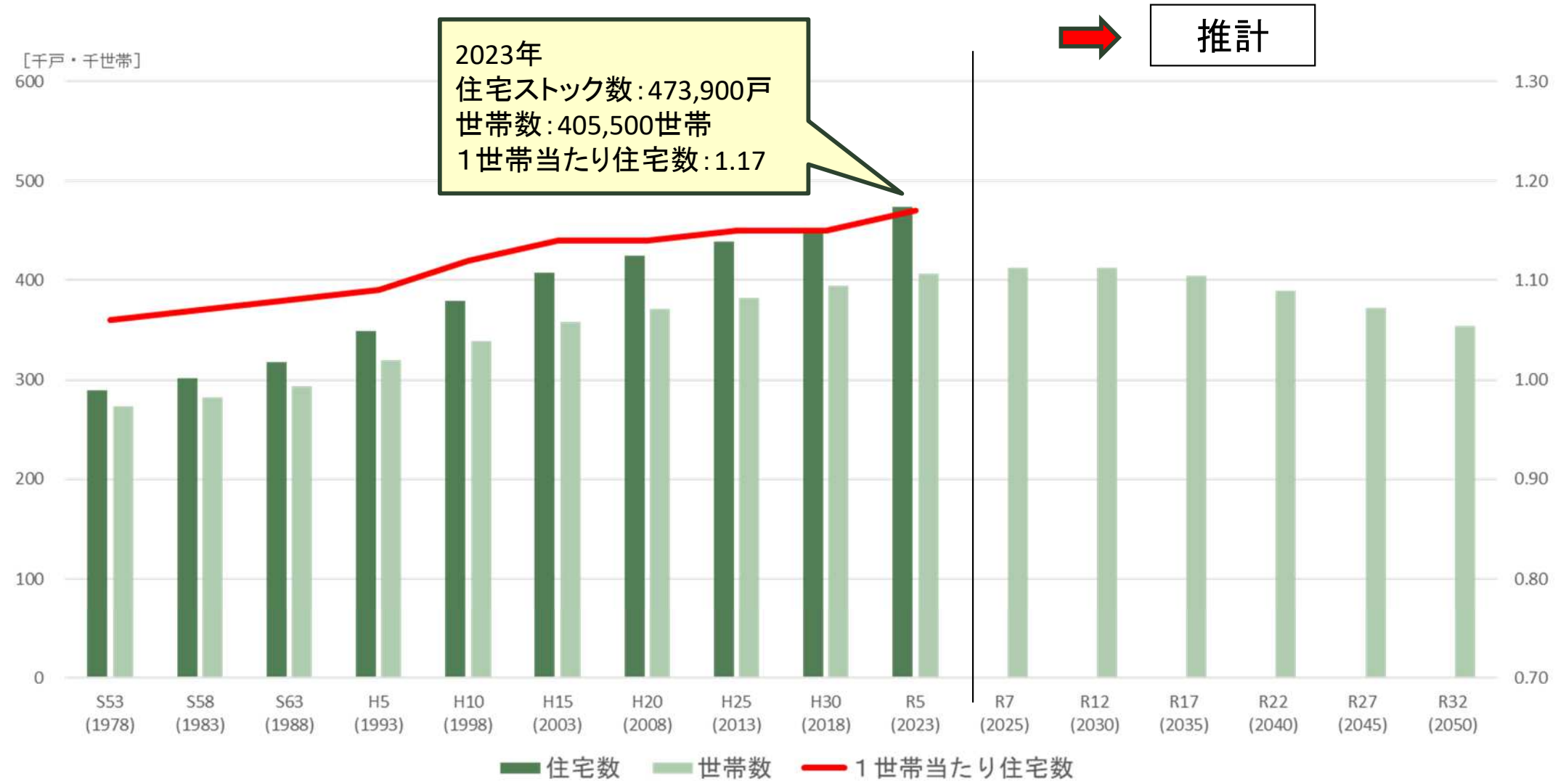


住宅ストックに関する状況

<住宅ストックに関する状況> 総住宅ストック数【富山県】

令和5年(2023年)の住宅ストック数は473,900戸、世帯数は405,500世帯であり、1世帯当たり住宅数は1.17となっています。

- ・住宅ストック数は増加傾向が続いており、1世帯当たりの住宅数も増加傾向が続いています
- ・世帯数は、今後横ばいから減少に転じると推計されています

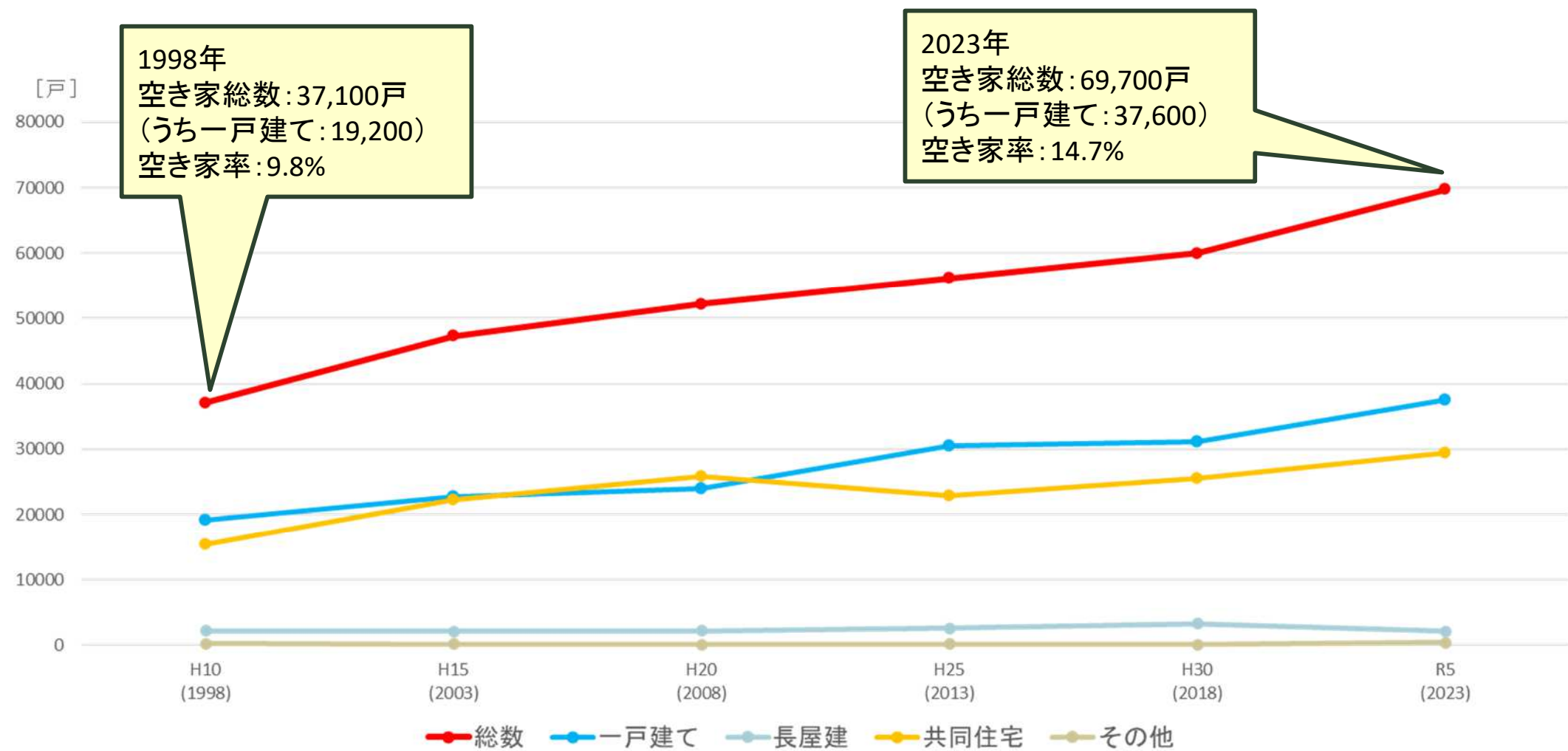


資料:住宅・土地統計調査(総務省)、日本の都道府県別将来推計人口、世帯数(R6推計)(国立社会保障・人口問題研究所)を基に作成

<住宅ストックに関する状況> 空き家の現状①【富山県】

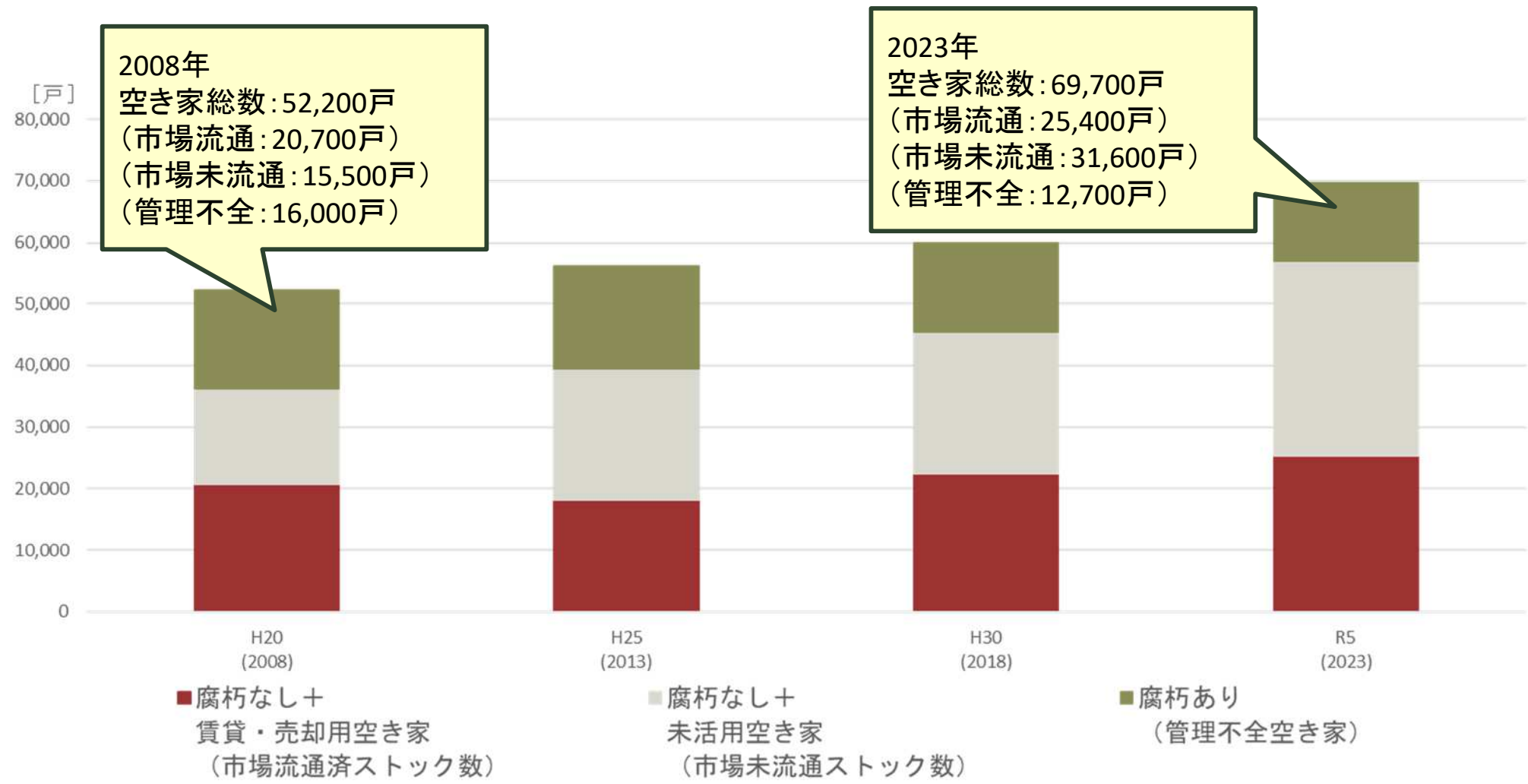
令和5年(2023年)の県内の空き家の総戸数は69,700戸、うち一戸建ての戸数は37,600戸です。

- ・**空き家の戸数**及び**空き家率**(住宅戸数に対する空き家の戸数)は、**増加・上昇傾向**です
- ・住宅の種類で見ると、**一戸建て及び共同住宅の空き家戸数の増加**が目立ちます



<住宅ストックに関する状況> 空き家の現状②【富山県】

令和5年(2023年)の県内の空き家の総戸数69,700戸のうち賃貸・売却用(市場流通)戸数は25,400戸です。
・管理不全空き家は減少が見られるものの、**市場に流通している空き家**や、市場に流通していないが**活用が可能な空き家**は**増加傾向**です



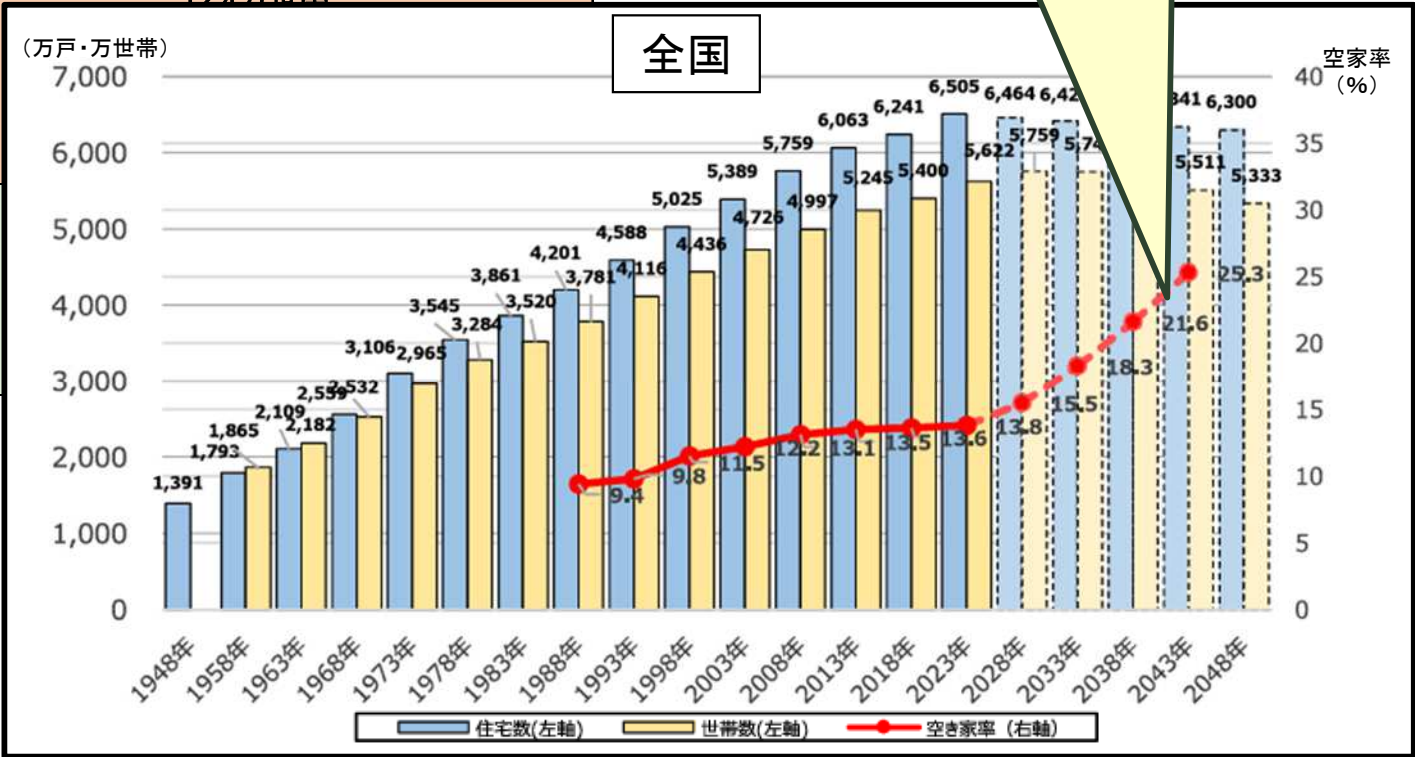
<住宅ストックに関する状況> 空き家の現状③【富山県】

令和5年(2023年)現在、65歳以上の世帯員のいる世帯(単身または夫婦のみ)のうち、持家に住む世帯数は約8.6万世帯あります。
・今後、**相続空き家の増加**による、**空き家率の上昇**が見込まれます

住宅に居住している世帯数(40.2万世帯)					
65歳以上の世帯員のいる世帯			その他の世帯		
20.0万世帯(50.0%)			20.2万世帯(50.0%)		
単身	夫婦のみ	その他	単身	夫婦のみ	その他
4.8万世帯	4.9万世帯	10.3万世帯	6.7万世帯	3.2万世帯	10.3万世帯
持家		9.9万世帯	持家		
3.9万世帯	4.7万世帯		12.4万世帯		
借家		4千世帯			
9千世帯	2千世帯				

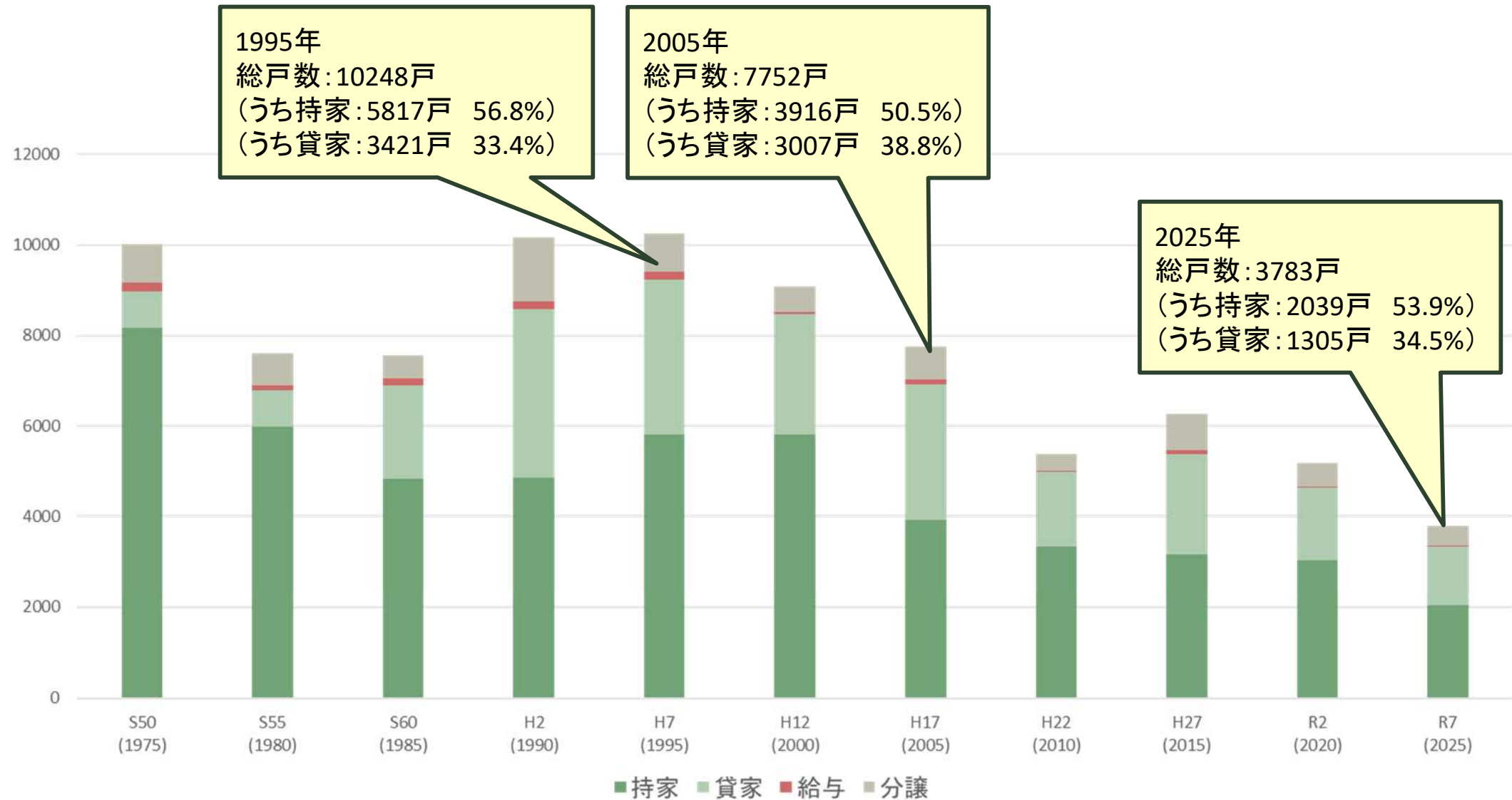
国の推計では、**今後急激に空き家率が上昇する可能性**が示されています。

今後、**相続空き家の増加**が見込まれます。
(これらの有効活用が重要)



<住宅ストックに関する状況> 新設住宅着工戸数【富山県】

令和7年(2025年)の新設住宅着工戸数は、3783戸です。
・平成7年(1995年)以降、各年ではばらつきはあるものの、**新設住宅着工戸数**は**減少傾向**が続いています

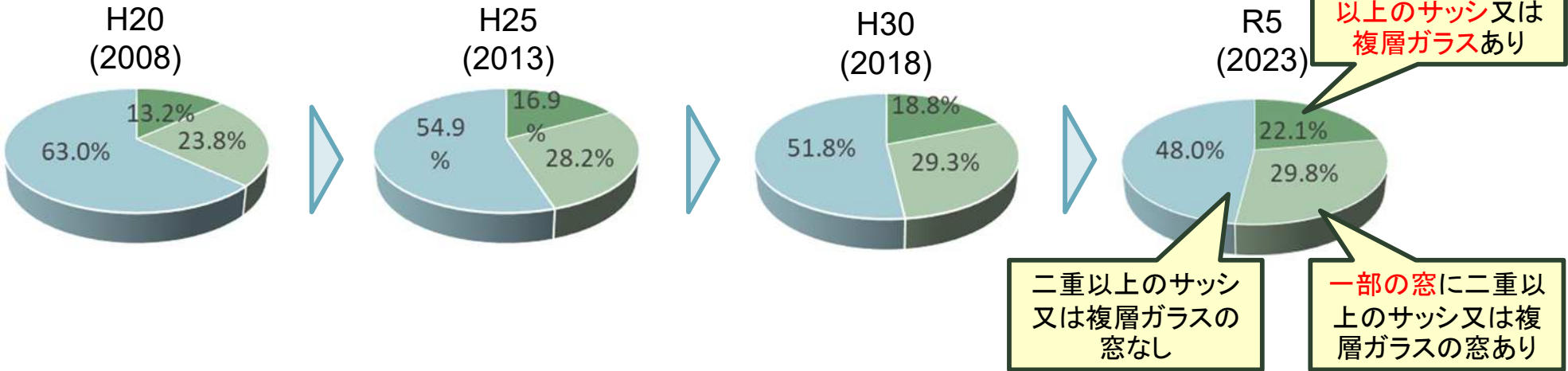


<住宅ストックに関する状況> 住宅の省エネ性能【富山県】

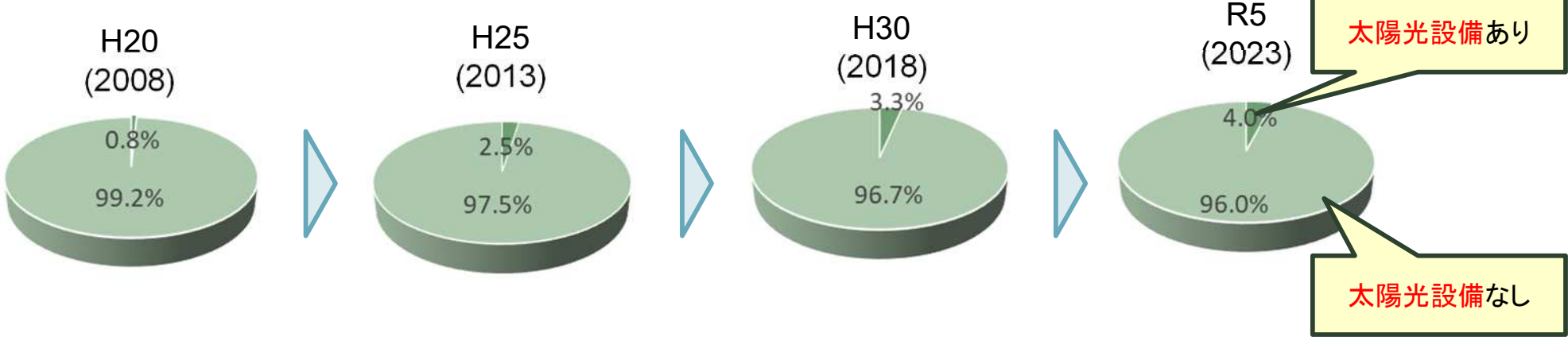
令和5年(2023年)時点において、**省エネルギー性能が高い窓を有する住宅**※は51.9%であり、割合は**増加**しています。
・また、**太陽光発電設備の設置率**も**増加**しています。

※「省エネルギー性能が高い窓を有する」とはすべてまたは一部の窓に二重以上のサッシまたは複層ガラスがあるものを指す

省エネルギー性能が高い窓を有する住宅の比率

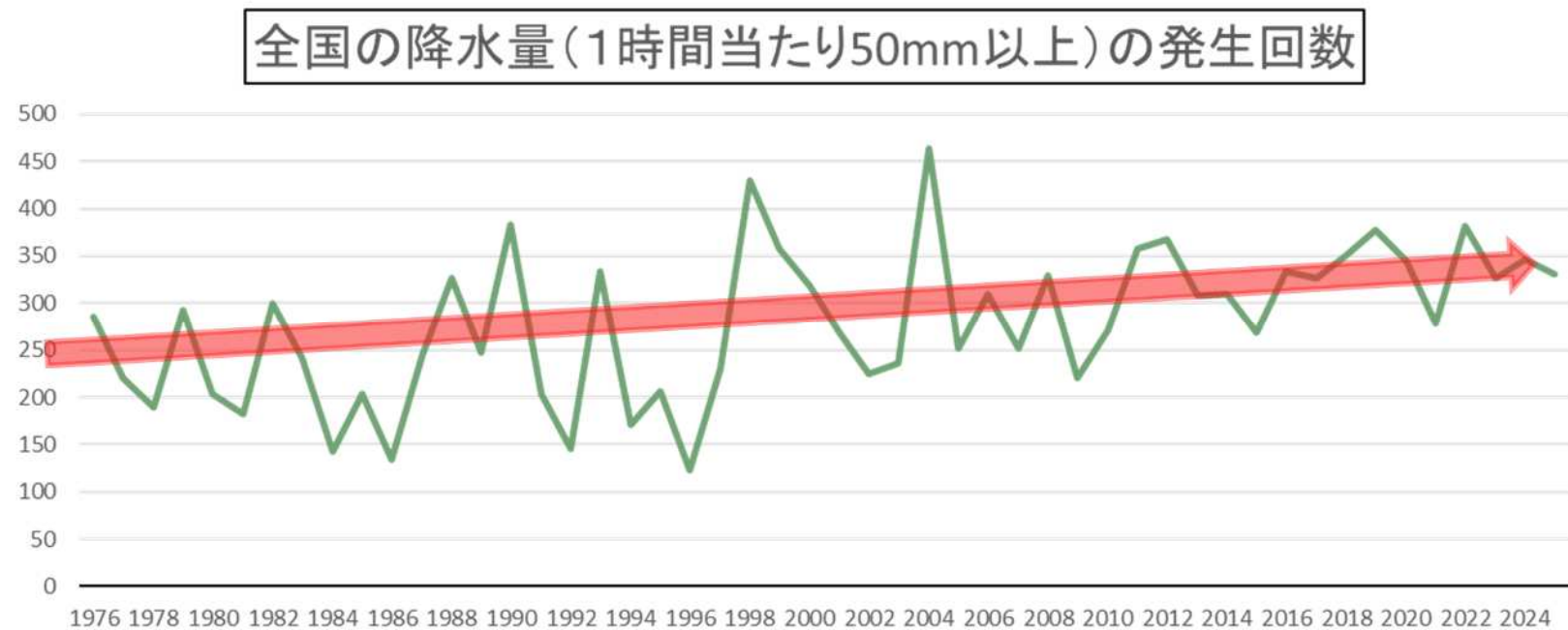


太陽光発電設備を有する住宅の比率



<住宅ストックに関する状況> 自然災害の頻発・激甚化

線状降水帯の発生による豪雨被害や大規模地震など、自然災害が頻発・激甚化しています。
・大雨(1時間当たり50mm以上)の発生件数は増加傾向であり、近年は北陸地方でも大規模地震が発生しました

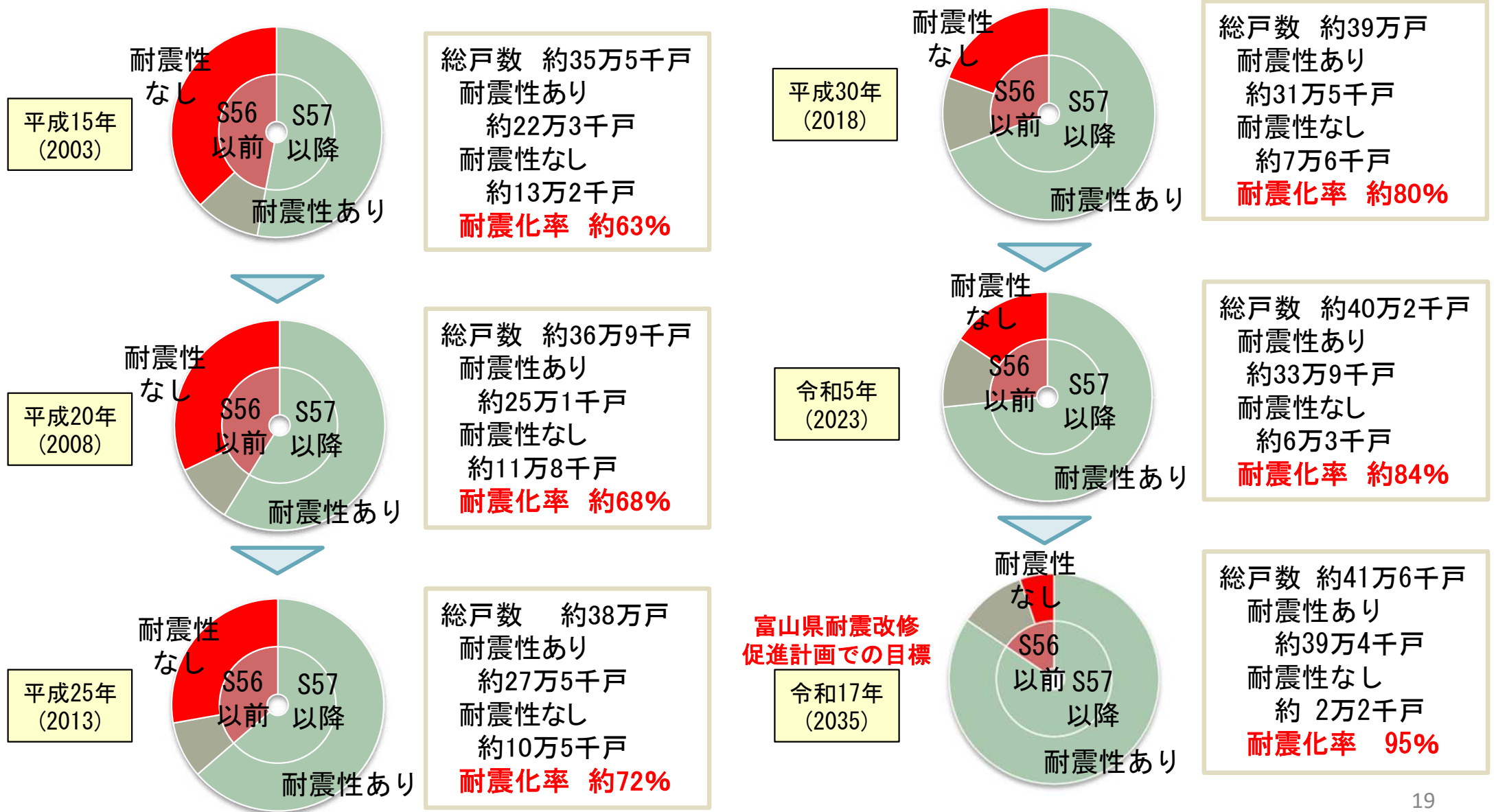


能登地震 (2024. 1) の被災状況



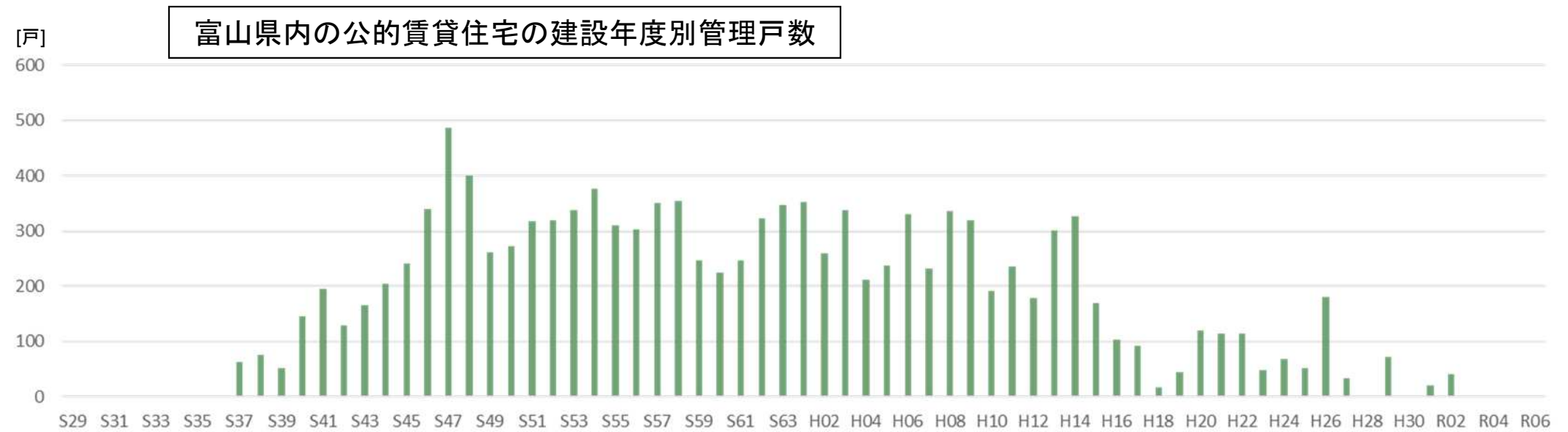
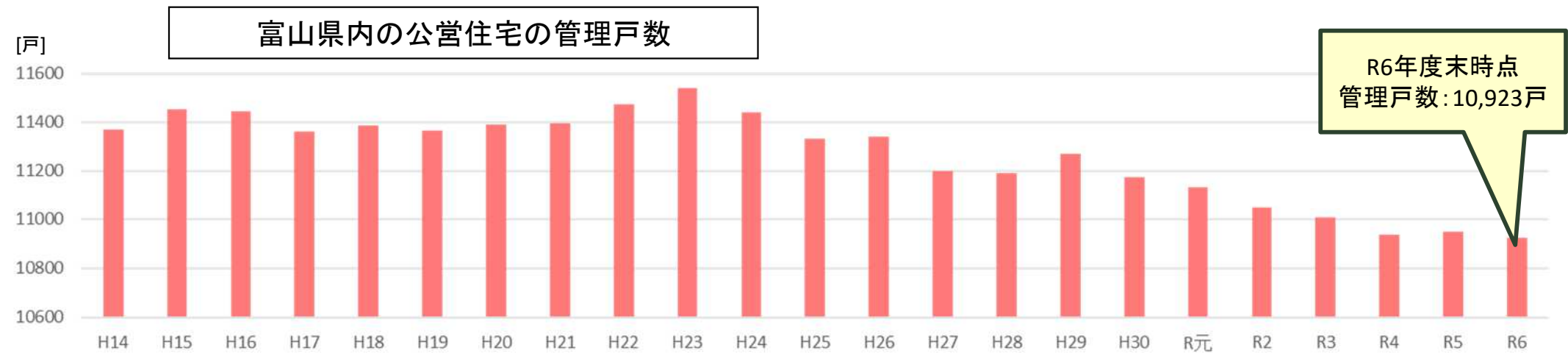
<住宅ストックに関する状況> 住宅の耐震化率【富山県】

令和5年(2023年)の住宅の耐震化率は、約84%です。
・住宅の耐震化率は、上昇しています



<住宅ストックに関する状況> 公営住宅管理戸数等【富山県】

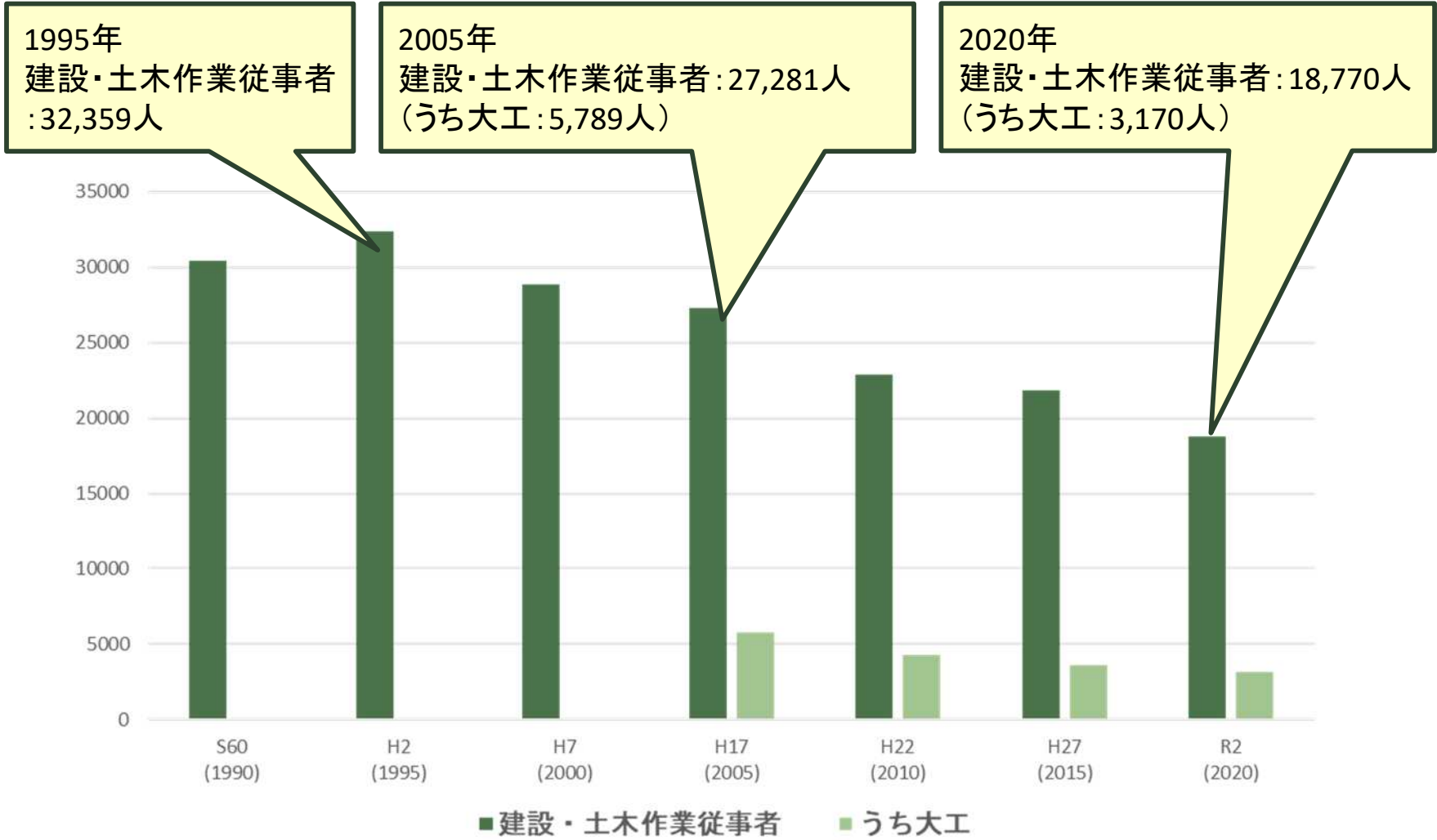
富山県内の公営住宅の管理戸数はR6年度末時点で10,923戸で、近年は減少傾向です。
ここ20年の間に設けられた公的賃貸住宅の戸数は1,000戸程度であり、全体の8.3%程度です。



住まいの担い手に関する状況

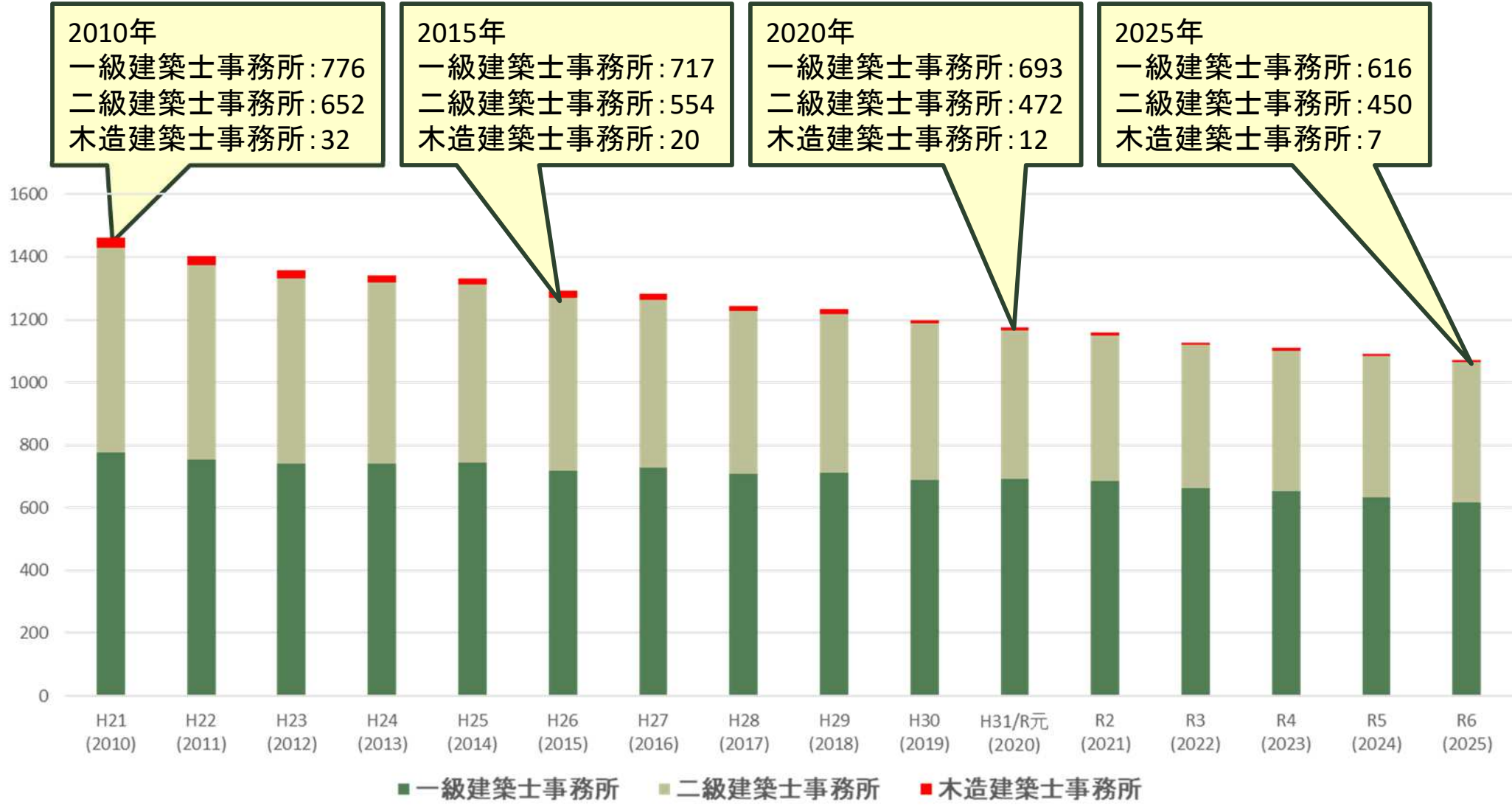
<住まいの担い手に関する状況> 建設・土木作業従事者【富山県】

平成2年(1995年)に建設・土木作業従事者は約3万2千人でした。
・平成2年以降、**建設・土木作業従事者は減少傾向**が続いています
・**大工就業者は**、国勢調査にて確認できる平成17年以降、**減少傾向**が続いています。



<住まいの担い手に関する状況> 建築士事務所数【富山県】

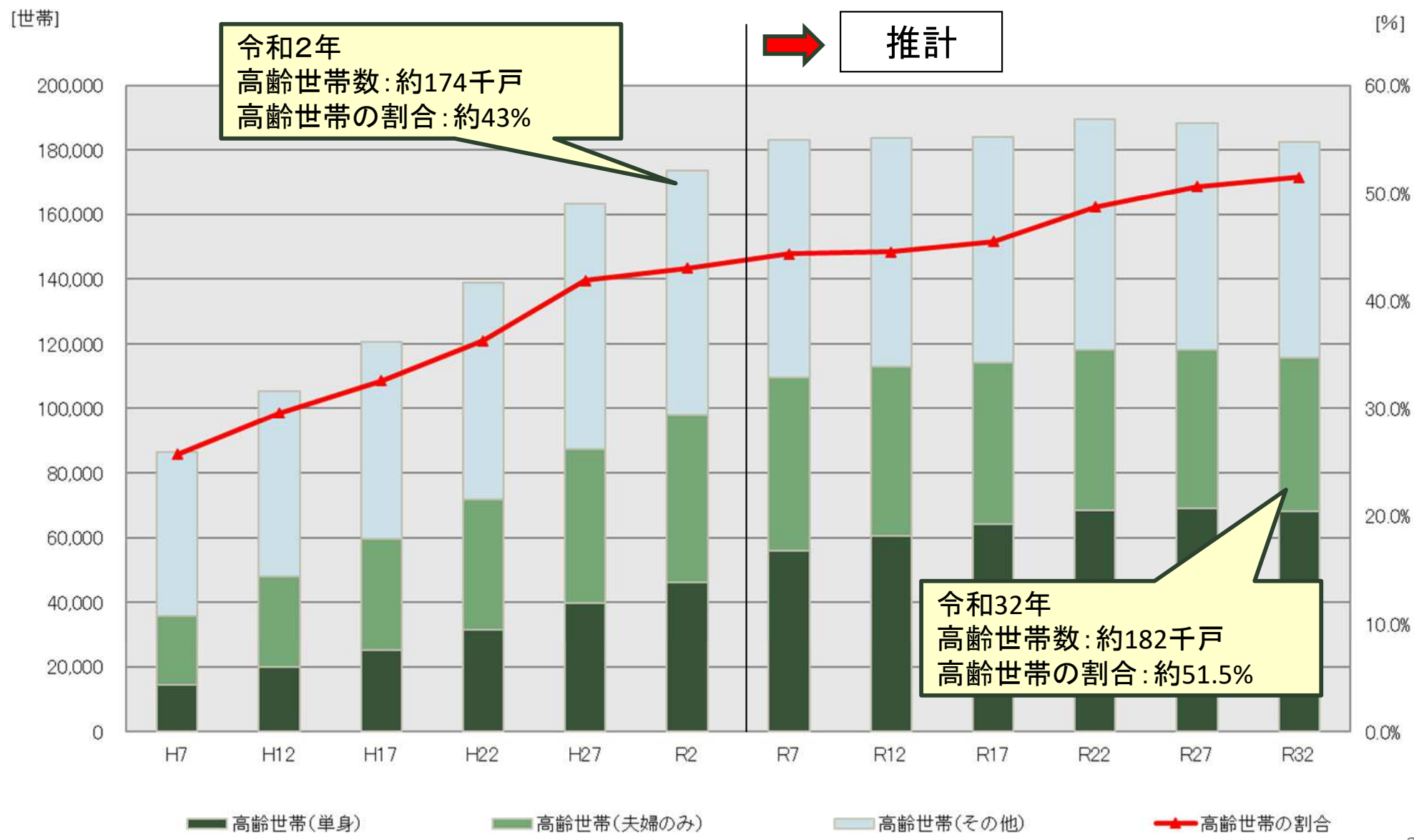
平成21年(2001年)に県内の建築士事務所数は1,460でした。
・**建築士事務所数**は減少傾向が続いています。
令和6年(2025年)に県内の建築士事務所数は1,073となりました。



高齢者居住安定確保計画に関する 状況について

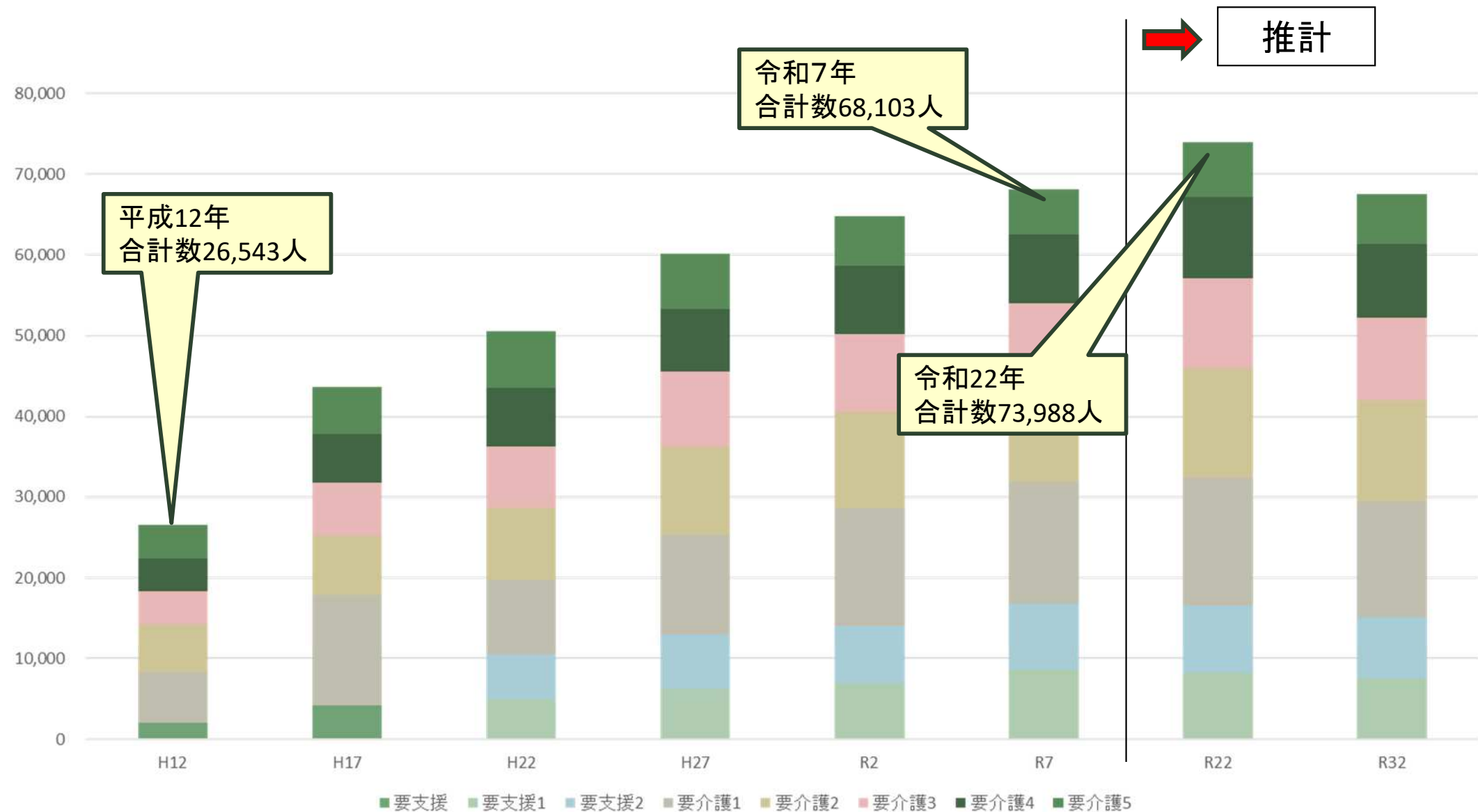
<高齢者居住安定確保計画に関する状況について> 高齢世帯数、高齢世帯の割合【富山県】

令和2年時点で、富山県内の高齢世帯(世帯主が65歳以上)は約174千世帯、高齢世帯の割合は43%です。
令和7年以降、富山県内の**高齢世帯数は概ね横ばい**の見込みですが、**高齢世帯の割合は上昇する**見込みです。



<高齢者居住安定確保計画に関する状況について> 要支援・介護者認定数の推移【富山県】

25年間の推移で、要支援・介護者認定者数は**増加傾向**(25年間で2倍以上に増加)

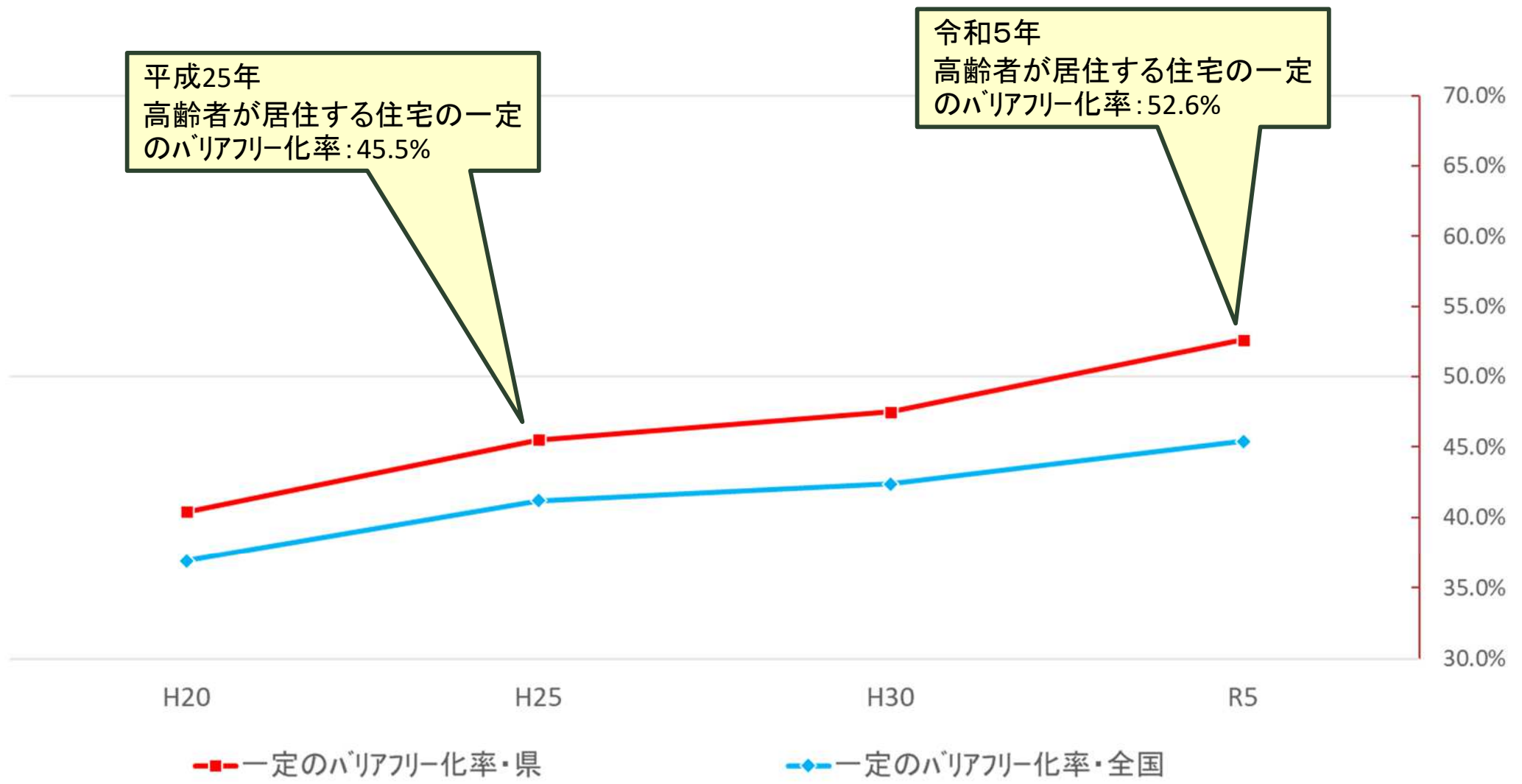


資料: (H12~R7) 厚生労働省公表「介護保険事業状況報告 月報」を基に作成。(R22,R32)「富山県高齢者保健福祉計画 第9期 富山県介護保険事業支援計画」掲載の推計による

<高齢者居住安定確保計画に関する状況について> 高齢者が居住する住宅の一定のバリアフリー化率

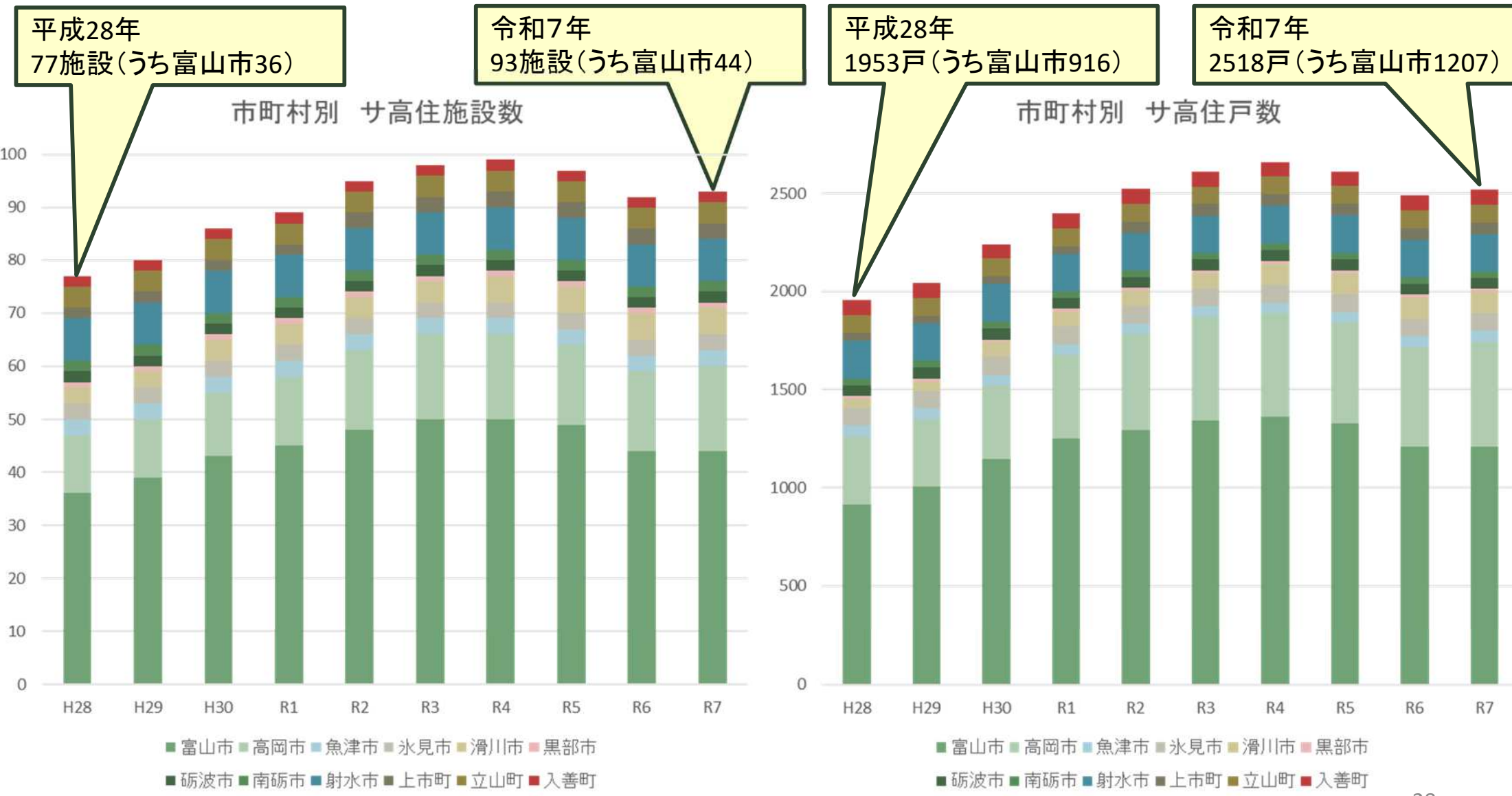
令和5年時点で、高齢者が居住する住宅の一定のバリアフリー化率は**52.6%**です。
平成20年以降、富山県における高齢者が居住する住宅の一定のバリアフリー化率は全国より高い水準を保っています。

一定のバリアフリー化：高齢者等のための設備・構造のうち、2箇所以上の手すりの設置又は屋内の段差解消がなされている住宅



<高齢者居住安定確保計画に関する状況について> サ高住の施設数と戸数【富山県】

サービス付き高齢者向け住宅の施設数と戸数は、**R4まで増加傾向であった**が、以降減少し、**R7で再び増加**に転じました。
15市町村のうち**最大は富山市**で、県全体の約半分程度である。（小矢部市、舟橋村及び朝日町は0施設）



資料: サ高住情報提供システム「全国登録情報データ」を基に作成

住宅確保要配慮者賃貸住宅 供給計画に関する状況について

<住宅確保要配慮者賃貸住宅供給計画に関する状況について>【富山県】

令和7年(2025年)の富山県内のセーフティネット住宅の登録数は13,279戸、居住サポート住宅の登録数は1戸です。

- ・セーフティネット住宅の登録数は増加傾向が続いています。
- ・令和7年10月の法改正に伴い、居住サポート住宅が開始されました。

○セーフティネット住宅(※)登録戸数(令和7年)

全国:960,340戸
うち専用住宅:7,026戸(要配慮者専用の住宅)

富山県:13,279戸
うち専用住宅:19戸(要配慮者専用の住宅)

(※)住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅

○居住サポート住宅(※)登録戸数(令和7年)

全国:265戸 富山県:1戸

(※)居住支援法人等が大家と連携し、入居中の居住サポート(①日常の安否確認
②訪問等による見守り③生活・心身の状況が不安定化したときの福祉サービス
へのつなぎ等)を行う住宅

○居住支援協議会の設立(令和7年)

全国:184協議会 富山県:0協議会
(氷見市において令和8年度設立準備会開催)

○居住支援法人数(令和7年)

全国:1,167法人 富山県:11法人

